



# 只見町ブナセンターだより

<ごあいさつ> まぶしい日差しが照りつける季節となりました。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。只見町の4名山もすべて山開きとなり、たくさんの方が訪れて楽しんでおられます。夏休みは登山に、トレッキング、緑のあふれた只見町でお待ちしております。

## ==== 開催案内 =====

### 【企画展】

## 只見のトンボ

日本有数の奥山であり、豪雪地でもある自然環境が特徴の只見町では、2023年現在67種のトンボが確認されています。主に寒冷地性の種が多く生息しており、局地的分布を示すアマゴイルリトンボが多く見られるほか、県内では珍しいヒメサナエやコノシメトンボが分布しています。さらに、2022年には東北で初記録となるホソミイトトンボが当館の指導員によって発見されました。本企画展では、トンボの形態・生態をはじめ、只見町のトンボ相の特徴や、豪雪に強く影響された発生消長、彼らの生息する水辺環境などについて解説します。

■開期 2023年7月29日(土)～2023年11月27日(月)

■会場 ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

### 【関連書籍紹介】

## 企画展ブックレット「只見のトンボ」 価格:税込500円

企画展「只見のトンボ」のパネル内容を収録したブックレットで、企画展の振り返りにオススメです。皆様の地元地域のトンボと比較して、只見町のトンボの種構成や、発生消長にはどのような特性が見られるでしょうか。国内有数の豪雪地・只見町のトンボに的を絞った本書は、ローカルな視点から地域の生物相を知るためのヒントとなるでしょう。



【自然観察会】 4月29日(土)

## 春の花観察会

2023年4月29日、深沢集落近くの森林で春の花観察会を実施しました。スギ人工林、ナラ類の薪炭林、ブナ二次林を歩き、春植物を中心として道中で出会った動植物を観察しました。

スギ林からナラ林にかけてはカタクリ、キクザキイチゲ、コシノコバイモ等の春植物が花を咲かせていたほか、ブナ二次林では、ブナの実生やツキノワグマの糞を観察しました。他にもヒナスミレ、サシバやニホンアマガエル等、様々な野生動植物を観察することができました。



▲カタクリ、キクザキイチゲ、コシノコバイモ  
(左から順)

【講座】 4月30日(日)

## ブナ林を研究するおもしろさ

森林研究・整備機構 理事長の中静透氏を講師に、講演会「ブナ林を研究するおもしろさ」が、4月30日に只見公民館で開かれ、町内外から約40人が聴講に訪れました。

中静氏は、戦後のブナ二次林の成り立ちや、ササや動物とブナの関係、また、温暖化がブナ林に与える影響などについて、長年にわたる調査の結果を基に、自身の調査中の様々なエピソードを交えながら解説されました。聴講後の質疑応答では、ブナ林生態研究の第一人者からお話が聞ける貴重な機会ということもあり、多くの質問が寄せられるなど、大盛況の講座でした。



▲ブナ林調査について語る中静氏

【自然観察会】 4月30日(日)

## 新緑のブナ林観察会

2023年4月30日、癒しの森にて恒例の新緑のブナ林観察会を実施しました。あまり人の手が入っていない原生林に近い自然林と、伐採後に再生した二次林を観察・比較しました。ま

た、午前中に雨が降っていたため、タゴガエルやキセルガイ類、カマドウマ類といった湿った環境を好む野生動物が多数見られました。



▲あまり人の手が入っていないブナ林



▲伐採後に自然再生したブナ二次林



▲タゴガエル

## 【自然観察会】

# 春から初夏の野鳥観察会 2023 : 全 5 回分レポート

4月から6月にかけて、全5回の野鳥観察会を開催しました。各回の参加者は、(4/23 叶津地区, 8名; 5/5 石伏地区, 8名; 5/6 新田沢周辺, 15名; 5/28 塩ノ岐地区, 13名; 6/25 毘沙沢周辺, 15名) という内訳でした。リピーターが増えており、たいへんありがたく思います。

4月～6月は多くの鳥類が繁殖期を迎えるため、どのような種が町内で繁殖しているのかを知るのに適した時期です。また、鳴き声による識別が必須となる時期でもあります。昨年も開催した本観察会ですが、今回はGWに2回を追加した他、新田沢以外の4か所を新規に観察地として設定しました。5回の通算の確認種数は50種で、昨年より2種増えました。

全ての回で確認された種が10種あり(トビ、コゲラ、カケス、ヤマガラ、ホオジロなど)、これらの種の個体数の多さや、環境選択性の広さが伺えます。また、環境省および福島県の最新のレッドリストに選定されている希少種として、オシドリ、ミサゴ、サシバ、アカショウビン、オオアカゲラ、サンショウクイ、ノジコの計7種が確認されました。中でも、オオアカゲラは毘沙沢で幼鳥が確認されました。こうした希少種の繁殖できる環境が、只見町にあることを示していると言えるでしょう。

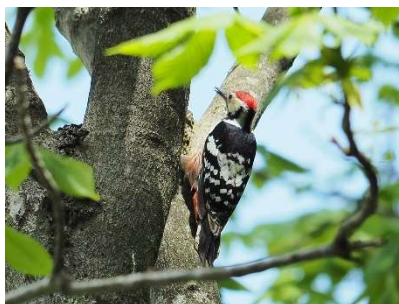
No.	目名	種名	叶津	石伏	新田沢	塩ノ岐	毘沙沢
			4.23	5.5	5.6	5.28	6.25
1	カモ	オシドリ	●				●
2		カルガモ			●	●	
3		コガモ	●	●			
4		キンクロハジロ		●			
5	ハト	キジバト	●			●	●
6	カツオドリ	カワウ		●	●		●
7		ペリカン	●		●		
8	ツル	オオバン		●			
9	カッコウ	ツツドリ		●			●
10	チドリ	コチドリ		●			
11		イソシギ	●		●		
12	タカ	ミサゴ		●			
13		トビ	●	●	●	●	●
14		サシバ	●		●	●	●
15		ノスリ	●				
16	ブッポウソウ	アカショウビン				●	●
17		カワセミ			●		
18	キツツキ	コゲラ	●	●	●	●	●
19		オオアカゲラ		●			●
20		アオゲラ	●	●	●		
21	スズメ	サンショウクイ	●	●	●	●	●
22		モズ	●				●
23		カケス	●	●	●	●	●
24		ハンボンガラス	●	●	●		
25		ハシブトガラス		●	●	●	●
26		コガラ					●
27		ヤマガラ	●	●	●	●	●
28		ヒガラ				●	
29		シジュウカラ			●	●	●
30		ツバメ	●			●	●
31		イワツバメ	●	●	●	●	●
32		ヒヨドリ	●	●	●	●	●
33		ウグイス	●		●	●	●
34		ヤブサメ		●	●		
35		センダイムシクイ		●	●		
36		メジロ		●		●	●
37		ゴジュウカラ			●	●	●
38		ムクドリ			●		
39		クロツグミ					
40		キビタキ		●	●	●	●
41		オオルリ	●	●	●		
42		ニューナイスズメ	●	●	●		
43		スズメ	●	●	●	●	
44		キセキレイ	●	●	●	●	●
45		ハクセキレイ	●	●	●	●	
46		セグロセキレイ	●	●	●		
47		カワラヒワ	●	●	●	●	●
48		イカル		●		●	
49		ホオジロ	●	●	●	●	●
50		ノジコ					●
計	11目	50種	26種	34種	34種	27種	25種

▲表中の「●」は確認されたことを示す

## 「春から初夏の野鳥観察会」で撮影された種



▲サシバ ハシブトガラスに追われる成鳥(右下)。夏鳥の猛禽類



▲オオアカゲラ 大型のキツツキ類。ナラ林に多く、毘沙沢では幼鳥を確認



▲ゴジュウカラ キツツキではないが垂直な木の幹を移動できる



▲キビタキ 夏鳥。さえずりはよく聞かれるが目視は難しい



▲オオルリ 夏鳥。目立つ場所でさえずるため観察しやすい



▲セグロセキレイ 河川に多い。石伏では餌運びを確認

ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。秋から初冬にかけても、野鳥観察会を企画予定です。

【自然観察会】 6月18日(日)

### 初夏のブナ林観察会

2023年6月18日、梁取の「学びの森」にて初夏のブナ林観察会を実施しました。本観察会では、「学びの森」に生育する樹木に焦点を当て、樹種名と見分け方、特徴や生態について当館館長が解説を行いました。本観察会では、まず参加者の皆さまに梁取ブナ林の観察路で見られる樹木61種のリストをお渡しし、観察路を歩きながら気になった樹木の枝葉を採集していただきました。採集された植物については館長が解説を行い、参加者の

皆様は熱心に植物の特徴を記録しました。当日は暑いくらいの気温となりましたが、散策の途中には只見ブナ林ブレンド<sup>※1</sup>の樹木茶も試飲していただき、爽やかな初夏のブナ林を五感で楽しむことができた観察会となりました。

※1 只見ブナ林ブレンドプロジェクト:只見町のブナ林に生育する樹木の機能性に着目しつつ、葉や枝を活用したブナ林ブレンドを開発し、商品開発による地域活性化を目指すプロジェクト。



▲樹木の解説を聞く参加者

## 梁取のブナ林樹木一覧(50音順)

あ	エゾユズリハ	コハウチワカエデ	ハイヌガヤ	ホオノキ	ヤマウルシ
アオダモ	お	コマユミ	ハイヌツゲ	ホナガクマヤナギ	ヤマツツジ
アズキナシ	オオバクロモジ	さ	ハウチワカエデ	ま	ヤマブドウ
アカマツ	オクチョウジザクラ	サワグルミ	ハクウンボク	マタタビ	ヤマボウシ
アクシバ	オニグルミ	サルナシ	バッコヤナギ	マルバマンサク	ヤマモミジ
アブラチャン	き	サンカクヅル	ハナヒリノキ	み	ゆ
い	キタゴヨウ	た	ハリギリ	ミズキ	ユキツバキ
イワガラミ	キブシ	タカノツメ	ひ	ミズナラ	り
う	く	タニウツギ	ヒメアオキ	ミツバアケビ	リョウブ
ウスノキ	クサボタン	タムシバ	ふ	ミヤマガマズミ	
ウラジロヨウラク	クマイチゴ	つ	フジ	む	
ウリハダカエデ	クリ	ツノハシバミ	ブナ	ムシカリ	
ウワミズザクラ	こ	な	へ	ムラサキシキブ	
え	コシアブラ	ナナカマド	ベニイタヤ	や	
エゾツリバナ	コナラ	は	ほ	ヤブデマリ	

### 【保護・保全】

## 歴史文化遺産「あがりこ型樹形のコナラ・ミズナラ巨木」のナラ枯れ防除を実施

梁取地区の観察の森に生育する「あがりこ型樹形」のコナラ・ミズナラの巨木を「ナラ枯れ」から守るため、幹に殺菌剤を注入するナラ枯れ防除作業を6月12日に実施しました。

「ナラ枯れ」は「カシノナガキクイムシ」が媒介する「ナラ菌」によりナラの木が枯れてしまう伝染病です。「あがりこ型樹形」とは、東北地方でかつて薪材を生産するために雪上で樹木を伐採した結果出来上がった独特の樹形を言い、只見町ではモギリツキなどと呼ばれます。これらを持続可能な森林資源の利活用を伝える歴史文化遺産として、保護・保全を図っています。



▲幹に小さな穴をあけて薬剤を注入

## 只見町ブナセンター 令和5年度行事一覧(予定)

### 企画展

開催期間	タイトル	会場
2023年7月29日(土)～ 2023年11月27日(月)	只見のトンボ	ただみ・ブナと川のミュージアム 2階ギャラリー

### 講座

開催日	タイトル
2023年秋(詳細は後日発表)	雪国只見のトンボ相

### 観察会

開催日	タイトル
2023年9月3日(日)	トンボ観察会
2023年10月上旬	バッタ観察会
2023年10月下旬	秋のブナ林観察会
2023年10月29日(日)	秋から初冬の野鳥観察会①
2023年11月26日(日)	秋から初冬の野鳥観察会②

※各種イベントの開催時期およびタイトルは変更となる場合があります。予めご了承ください。

#### <編集後記>

4月からふるさと館田子倉に勤務しております。五十嵐です。只見生まれの只見育ちです。  
ふるさと館田子倉での勤務を通じて、地域の自然や歴史・文化を学び、町内外の多くの方に只見の魅力をお伝えできるよう努力してまいります。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。(五十嵐)

発行 **只見町ブナセンター** 〒968-0421 福島県南会津郡只見町大字只見字町下 2590 番地



只見町ブナセンター



電話 0241(72)8355 ホームページ <http://www.tadami-buna.jp>

FAX 0241(72)8356 メール [info-buna@amail.plala.or.jp](mailto:info-buna@amail.plala.or.jp)

Facebook <https://www.facebook.com/tadami.buna>

附属施設「ただみ・ブナと川のミュージアム」・「ふるさと館田子倉」

開館時間：午前9時～午後5時（最終受付は午後4時まで）

休館日：火曜日（祝祭日の場合は翌平日）、年末年始（12月29日～1月3日）

入館料：高校生以上 310円（20人以上は団体割引） 小・中学生 210円

只見町在住の小・中・高校生 無料